

富永議員（自民議連）

平成 27 年 12 月 9 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）グローバルリーダー育成校の設置場所の考え方について

この学校の教育環境として、「全寮制の中高一貫教育校」と説明しているが、中学生から親元を離れて生活・学習することは、保護者や生徒にとって、大きな不安を感じることであり、また、海外から多くの留学生が集まる点でも、国内の他の学校とは異なり、ある意味、非常に特殊な学校になることから、設置場所として、様々な検討を進めていると思う。

全寮制で受け入れることは、私生活も含めて「生徒の将来をお預かりする」ことであり、仮に開校後、学校が地域から孤立し、生徒が孤独感や不安感を抱えながら生活・学習することとなってしまうとは、この学校に期待し、将来を預けてくれた生徒や保護者の信頼を裏切るものとなる。

学校を設置する場所について、「学校を開校できるか」、「生徒が集まるか」という視点も重要ではあるが、同時に、開校後、「如何にして学校が地域から愛され、生徒たちが充実した学習生活を送れるか」も、極めて重要な論点であると考えている。

文教委員会では、「設置場所は未定だが、都市部よりはむしろ、自然豊かな場所の方が相応しいと考えている」との答弁があった。

そこで、現時点において、「グローバルリーダー育成校」の設置場所に関する具体的な考え方、選定条件などについてどのように認識しているのか、教育長に伺う。

（答）

「グローバルリーダー育成校」の設置場所につきましては、

- ・ この学校が目指す「突き抜けた新たな学び」を実現可能かどうか、とりわけ、この学校の特色であります「プロジェクト学習」におきまして、どのような地域の資源や課題が活用できるか
 - ・ 地元の自治体等との十分な連携が可能であり、また、学校の設置につきましても、地域からの理解や支援が得られるかどうか
 - ・ 設置するために必要な、十分な面積の敷地があるかどうか
- などの観点から、検討する必要があると考えております。

このような観点から、これまでも、未利用の県有地などを中心に検討を行

ってまいりましたが、先般、誘致に向けた具体的な御提案もございましたので、今後、こちらも含めて、更に詳細な検討を行ってまいりたいと考えております。